

- 1 審議会名 上田市博物館協議会
- 2 日 時 平成26年3月22日 午前10時から11時30分まで
- 3 会 場 上田市立信濃国分寺資料館 講堂
- 4 出席者 野々村孝子委員、塩入法道委員、堀内 泰委員、宮澤かほる委員、倉嶋勝夫委員、手塚若子委員 島田洋子委員、飯島新一郎委員
- 5 市側出席者 倉澤博物館長、尾見係長、坂部資料館長、児玉指導主事
- 6 公開・非公開等の別 公開・一部公開・非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成26年3月23日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (尾見係長)
- 2 あいさつ (倉澤博物館長)
- 3 協議事項
  - (1) 議題の概要
    - 平成25年度 事業報告について
    - 平成26年度 事業計画(案)について
    - その他
  - (2) 審議概要
    - H25 事業報告について
      - (事務局) 市立博物館、丸子郷土博物館、武石ともしび博物館、信濃国分寺資料館の順で報告。
      - (委員) 上田市のホームページで観光の行事がいくつも掲載されているが、ここに博物館や資料館の企画展、特別展の開催についても掲載し、PRをもっとしてはどうか。また、広報紙以外でも周知の手段はあるのか。
      - (事務局) 市のホームページや館のホームページにも催しについて新しい情報を掲載していく。また博物館、資料館とも催しについては、広報紙以外に信濃毎日新聞をはじめ UCV や丸子テレビ、週刊上田、東信ジャーナル、信州民報道等へも告知の依頼をしている。
      - (委員) 催し以外でも、上田市の文化財についてパソコンで手軽に写真を見られることは、大変素晴らしいことだと思う。今後も続けていただきたい。  
過日、私も博物館の講座に参加させていただいたが、研究発表や展示についても、いつもと違った観点から考察されていたことに新しさを感じて良かった。  
企画展や特別展の際には、「今回の見所」的な展示を見るポイントを館の入口に示していただくと、「入ってみようかな」と思い、来館者が増える要因になると思う。
      - (事務局) 展示の方法については、工夫をして見やすく分かりやすい解説を心がけます。また、展示のポイントについても今後、検討していきます。
    - H26 事業計画について
      - (事務局) 市立博物館、丸子郷土博物館、武石ともしび博物館、信濃国分寺資料館の順で説明。
      - (委員) 丸子郷土博物館には、市の職員はいるのか。各館入館者はどのくらいあるのか。
      - (事務局) 現在は、臨時職員が常駐している。
      - (委員) 民間委託など長期構想の中で、負担にならないような運営をお願いしたい。  
丸子郷土博物館のあり方については、腹づもりを決める必要がある。

(事務局) 丸子郷土博物館の入館者は、昨年と一昨年は1,000人以上に回復している。全体の職員配置の中で、臨時2名が対応しているが、養蚕・製糸関係の借用依頼もあり、貸し出しを行っている。また、前任の館長も万が一閉館という事態になったとしても資料の保管、収蔵施設は存続しなければならないという考えがあった。次年度は、資料の貸し出しなどの問題も含めて検討していきたい。

(委員) この郷土博物館ができる前には、色々な場所にあった資料を収集、移管したものだと思う。そうした歴史性を含め、市広報の表紙で是非紹介していただきたい。丸子郷土博物館の養蚕製糸関係の資料を見に来る方はいるかもしれないが、鳥羽山洞窟の資料は、すごい資料なので、国分寺資料館へ移して展示や収蔵をした方がいいのではないかと。

(事務局) 一昨年度、博物館のあり方の答申もあるので、全体構想の中で考えていきたい。お示しした資料には、載せていきたいが資料館では小中学校へ出前講座を行っており、次年度も予定をしている。延長して資料館の見学をする学校もあり、学校の関係者から好評をいただいている。

(委員) 以前、信濃美術館に刀剣の特別展を見に行った際、上田市の陣場山古墳出土の刀剣が展示されていたが、これは、県が所蔵するものであるが、上田市から出土したものであるため、上田市に頂くことはできないかと。

(事務局) 現在の制度の詳細は、不明であるが、申請をすれば市町村への委譲は可能であると思う。しかし、良い資料だけ委譲するという訳にはいかないであろう。保存状態の良い直刀などは温湿度管理設備の整った展示室と収蔵庫がないと危険である。現在は、保存の施設、空間、人員の整っている県(歴史館)に保存収蔵していただき、必要なときに借用してくる方法がベターであると思われる。

(委員) 県外の博物館を訪れる機会があったので、感じたことを申し上げたい。入館者にまた来たいと思わせるような展示室に説明者を置くとか、簡単な説明音声流すとか、工夫をお願いしたい。子どもたちと学び遊べるコーナーを作ることも考えて欲しい。展示や博物館そのものを楽しかった、勉強になったと思えるものにして欲しいと思う。

一般の市民には、展示内容や説明が堅すぎる。一般市民の目線、立場で理解できる方法を考えていただきたい。

観光客などは、資料の国宝、重文のランクに注目してみるのではないかと。館外に国宝重文などの収蔵品のリストを掲示する工夫も必要ではないかと。

(事務局) 市立博物館は、重文を3点収蔵している。文化庁では、展示期間を制限しているが今後は、工夫をしたい。なお、先ほど昨年度の入館者数についてご質問がございましたが、2月現在で市立博物館が117,565人、国分寺資料館が6,744人、丸子郷土博物館が934人、武石ともしび博物館が2,939人でした。また、各館のスランブラリー達成者は、2月末で51枚でした。

(委員) 次回は、入館者の10年間の経年変化の資料を提示して欲しい。

(事務局) 次回の資料には一覧にまとめて提示いたします。

#### その他について

(事務局) 10月に交流文化芸術センターのオープンに併せて減免措置について博物館も併せく、・定住圏内居住の小中高生は無料。市内の小中学生と一緒に保護者は無料とするという内容で調整している。今後も、本日いただいた御意見を参考に事業の内容を精査し、魅力ある学芸活動を心がけて参ります。

(委員) 以上で、閉会とします。